

謹賀新年

新春と寿ぎ 皆々様の益々の
ご健勝と多幸をお祈り申し上げます
旧年中は格別のご協力を賜り
有難うございました
本年も一層のご支援をよろしく
お願い申し上げます
平成十八年元旦

- 自治会
- 改良組合
- 農業対策委員会
- 民生委員
- まらづくり委員会
- 福寿会
- ボランティアサークル
- 消防自警団
- 婦人会
- 中学校委員
- 子供会
- カンガルークラブ
- 鶴野俊雄
- 大村吉継
- 山岸長兵衛
- 滝幸雄
- 青木一雄
- 伊関徹人
- 松枝義人
- 鶴野真明
- 山本佳子
- 薩摩洋子
- 鶴野真明
- 成宮有香里



写真で見る

町の活動



▲11月13日 敬老会



▲10月30日 町文化祭



▲12月5日 和み会

肥田町史

福井県東郷より

肥田城主長谷川秀一の墓参に来訪

平成十七年十一月に福井県東郷の史談会の一団がバスで崇徳寺を訪ねてこられ、まちづくり委員会も応対した。そもそも肥田城主であった長谷川藤五郎秀一は、尾張の人、織田信長に仕え、本能寺の変後、天正十一年に秀吉に仕えている。天正七年五月に安土城天守閣が完成するが、その城下で浄土、法華の両宗の僧侶が宗派論争をさせられ、そのとき、の衝に当たったのが長谷川秀一であった。天正十二年五月には、越前東郷城主、同十三年根来征伐に従軍し、その功あつて天正十七年、一五八九年の五月に蜂屋頼隆のあとを受けて肥田城主となり東郷と併せて六万五千石を領している。その後文禄元年に秀吉の朝鮮侵略に従軍、翌年に病死、遺骨が崇徳寺に葬られている。今までも平成三年に長谷川家の後裔の方が、また平成十一年に「織田信長家臣研究会」の一行も訪ねてきておられ史実を確認して帰られている。



靖国問題

高橋哲哉著
ちくま新書

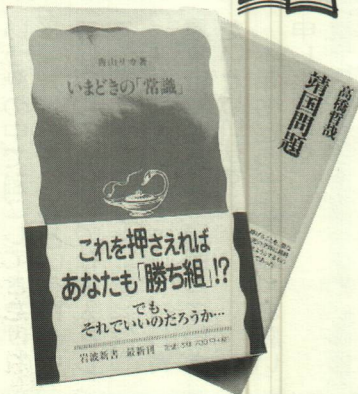


このところの靖国問題は、未来志向に立ったアジア外交上と言えども避けて通れない問題ではないでしょうか。戦争経験のあった人、経験の無い若い人々にも理解し易く、明晰な論理で迫っています。著者は東京大学大学院総合文化研究科教授で広い範囲で活躍。靖国問題の本としてはベストセラーとなっています。

BOOK 推薦コーナー

いまどきの「常識」

香山リカ著
岩波新書



いまどきの世相を眺めると身の回り穏やかでないことが多い。精神科の医者である著者の眼で家族、社会、経済、政治などの問題を分かり易く解説し考えさせてくれます。子育て、人の関係と身近なことにもヒントが沢山あります。是非とも推奨のベストセラーです。